Makabeishikai
Junkangogakuin

MJかけはし

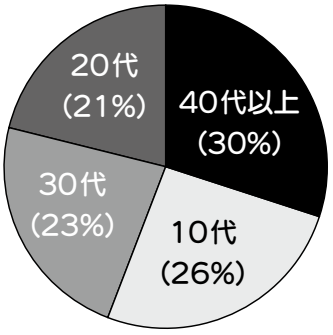
永年の歴史を紡ぐ、伝統ある学院
男女共学、主婦、社会人歓迎の開かれた学院
― 幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍 ―

令和2年度志願者概況

真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2，248名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する結城市・古河市・坂東市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・笠間市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

令和2年度志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、社会の構造的要因も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は約74％と高くなっています。

社会人経験者のキャリア

- 医療関係施設でヘルパーとして従事していた人
- 介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
- 保育園・幼稚園教諭等の異業種から資格取得を目指す人

新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

医療機関、介護・福祉施設に所属して学ぶ

入学者の多くは、医療機関や介護・福祉系の施設を始めとして、通学可能な範囲の施設などに所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関や施設等で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

各種給付金等を活用して経済的負担を軽減

県・市町村・公共職業安定所（ハローワーク）等の定める各種修学資金、支援金等があり、条件が合えば在学時の経済的負担の軽減策の一つとして、これらの制度を活用することも可能です。

卒業後の進路

卒業後の進路は、所属する病・医院等へ就職する生徒が約90％、正看等の看護学校への進学者が約10％となっており、自分自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

エッセンシャルワーカーとして看護の道を選ぶこと

「エッセンシャルワーカー」とは、私たちが生活を営む上で欠かせない仕事に従事している人々のことを指し、医療・看護・福祉分野の従事者が含まれます。

コロナ危機による経済収縮により、一般企業の求人にも大きな影響をもたらす可能性があるコロナショック。世の中の仕事の需給状況や、仕事を取り巻く環境は大きく変わってきています。この状況下、需要が高まっている職種がエッセンシャルワーカーと呼ばれる職種で働く方々です。今後、人々の活動が制限されたニューノーマルといわれる新生活様式が日常化する中、ライフライン維持のために働く看護職者へのニーズはさらに高まり、活躍のフィールドがますます広がります。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。

医療現場で未知のウイルスに立ち向かい奮闘している当学院の卒業生は、私たちの誇りです。

コロナ禍

看護の道　志迷いなし

エッセンシャルワーク

コロナ禍で今年度入学生 (第 65 回生) は、入学早々臨時休校措置を余儀なくされました。
当学院ではこの間、県内准看護学院で唯一、web 授業を 5 月より実施した他、茨城県の対策ステージに合わせた分散登校を経て、6 月からは通常授業を開始するなど、限られた環境下でも生徒の安全と健康を守りながら、学びの時間の確保に努め、きめ細やかな各種対策を生徒ファーストで講じてきました。

すべては、11 年連続准看護師検定試験 100% 合格のバトンを 64 回生に繋ぐために。

今後、新しい生活様式が求められる中で、人々の生活に必要不可欠な医療・看護・介護・教育等（エッセンシャル・ワーク）の分野で活躍する方々の社会的評価やニーズがさらに高まると言われています。
今般のコロナ禍においても、医療従事者に対するリスペクトの証として、感謝の気持ちや応援の意を表する行動やメッセージをはじめ、国策として各種支援策が打ち出されるなど、私達の命の護り手となる看護職者に対する諸施策によって、医療従事者は守られようとしています。

看護職者は、人々の健康を守り社会に貢献するとともに、多くの方々から期待され信頼されるやりがいのある職業のひとつです。

ことし入学した 65 回生は、将来の展望を見据え、看護の道を一歩一歩着実に歩んでいます。

栗﨑 昭子 さん

所属：真壁授産学園
推薦入学試験 A 方式（施設長推薦）合格

准看護師を志したきっかけ

現在、知的障害者支援施設で11 年働いていますが、施設長より看護師不足の現状にあるとの話を聞く機会がありました。今までは、利用者様が体調を崩されたり、怪我をされて通院に付き添う時でも、病状説明をするとき、知識がなかったことから、詳細が分からず終わってしまうことが度々あり、これでは、私たちも不安ですが、ご利用者様はもっと不安だろうと思い、不安を和らげるようになりたい、それには資格が必要だと思い准看護師を志しました。

入試対策はどのようにしたか

施設より推薦して頂けたので、推薦入試A方式（施設長推薦）で受験しました。試験科目は、作文と面接でした。作文は、最近のニュースに関心を持ち、こまめに情報収集しました。面接は、どの様な質問があるかは分からなかった為、自分の想いだけは言えるように対策をしました。

勉強と仕事・家庭の両立

平日は、仕事と学校があり、家に帰ると子供達もいるので、家の事が優先となっています。勉強は一日の終わりに毎日少しでもやるようにして、休日には、子供達と一緒に勉強時間を決めてやるようにしています。仕事は、月水金の午前中に入れていただき、学校と仕事も両立しています。「絶対に准看護師になる」と目標を立てることで、皆が協力してくれますので、勉強に打ち込む事が出来ます。

将来の夢

資格取得後も、現在の職場で働ける予定になっています。知的障害を持った方で、どこが痛いかは言えても、いつからどのようにが言えない方もいます。その方々が安心して生活でき、何か変化があった時はすぐに対応できる看護師になりたいです。

櫻井 悠貴 さん

所属：青嵐荘療育園
推薦入学試験B方式（高等学校長推薦）合格

准看護師を志したきっかけ

福祉科がある高校に通っていたので、病院実習を経験することができました。その時、看護師さんが利用者さんと何気ない会話をし笑顔で対応している中で、顔色や表情の変化に気が付いて声掛けをしている姿を見て、私もこのような仕事がしたいと思いました。

真壁医師会准看護学院を選んだ理由

職場の先輩に学院の卒業生が在職されていることを知り、学院についてアドバイスをいただきました。生活環境や年代も違う多くの方々が働きながら准看護師資格取得を目指していることを聞いて、資格者として働ける看護の道を選択することにしました。

勉強と仕事・家庭の両立

仕事をしながら、准看護師の資格を取得するための勉強をすることは、忙しく大変なところもありますが、授業で専門的知識を学ぶ中で、とてもやりがいを感じています。多くの先輩方が勉強と仕事を両立されてきたように、私も続いていきたいと思います。

将来の夢

患者さんに寄り添い親身になって、不安を和らげることができるよう、安心・安全なケアを実践し、経験を重ねる中で、患者さんの身体的・精神的な状態の変化に気づき、適切な対処ができる准看護師になりたいと思っています。

看護

Essential Work

田﨑 由美子 さん

所属：なかはら整形外科医院
社会人入学試験合格

准看護師を志したきっかけ

私は、結婚・出産・子育てをしながら仕事と家庭との両立をしてきました。子供の成長・進学を機に転職し、現在のクリニックで看護助手として働いています。患者さんに接し、診療の補助をしながら医療器機にふれたり、診察の間に先生の話を間近で聞いているうちに、看護師になってもっと多くの知識や技術を身に付けたいと思い、資格を取ろうと決意しました。

勉強と仕事・家庭の両立

仕事をしながら家事をこなし、学校へ通うことはとても忙しく、一日があっという間に過ぎていきます。勉強は時間の合間を見つけて短期集中で取り組んでいます。学校に行けば同じ志しを持った仲間がいて、助け合いながら学べる環境があります。大変さより、共に学びわかちあえる喜びの方がとても大きいと感じました。クラス全員で、資格試験合格を目標に日々頑張っています。

入学前と入学後の生活の変化

入学前は、従来のようにフルタイムでは働けなくなるので経済面で少し不安でした。入学してみると、奨学金や給付金などが充実していて、集中して学べる環境が整っていて不安はなくなりました。学習面では、しっかりとしたカリキュラムが組まれており、何よりも先生方のサポートが手厚く丁寧にわかりやすく指導してくださるので、意欲的な勉強につながり、学ぶことが出来て、この学院に入学して本当によかったと思っています。

将来の夢

資格を取得したら、今働いているクリニックで地域密着型の准看護師として、身近な患者さんと向き合って働くことが夢です。専門的知識・スキルを身に付けて、主体性をもって行動し、地域の患者さんから愛される准看護師になりたいと思っています。

臼井 珠企 さん

所属：通所介護施設 みやうち
一般入学試験合格

准看護師を志したきっかけ

私は介護施設で8年間働いています。その中で、看護師さんの仕事をみているうちに、看護の仕事に興味を持つようになりましたが、なかなか一歩が踏み出せませんでした。

しかし、一昨年末、父が入院した際にいろいろな説明を医師から受けました。その内容は私には難しいことばかりで、その時にもっと病気のことを勉強して、同じようなことが起きた際に医師の説明を理解し、それを家族の人に上手に伝えたいと思ったのがきっかけです。

勉強と仕事・家庭の両立

私の妻も仕事をしているので、家事・育児などでできることは協力するように意識してやっています。幸いにも、課題やレポートがある時には、妻の協力を得て、学習期間を確保することができています。また、職場の方々も私の体調を気遣ってくださり、オーバーワークにならないよう勤務時間の調整等で配慮していただいています。

入学前と入学後の生活の変化

入学前、私は相談員兼介護士として働いていましたが、現在は相談員の業務はせずに介護士として働いています。以前は、夜勤が多くありましたが、職場の理解を得て、現在は日勤のみとなりましたので、生活リズムも整い、学習時間もしっかり確保できるようになりました。

将来の夢

私の将来の夢は、介護福祉士としての経験を活かした准看護師になる事です。今まで、介護士として７年間働いていました。そこで、排泄介助や移乗介助、入浴介助等を学んできました。介護と看護は似ている所があると思っています。

卒業後は、准看護師としてはまだまだ未熟ですが、看護の視点と介護福祉士学んできたスキルを活かしていくのと同時に、誰にでも優しい准看護師を目指しています。

富山 沙紀 さん

所属：医療法人　平間病院
一般入学試験合格

准看護師を志したきっかけ

私が准看護師を志そうと思ったきっかけは、出産を経験し、今までにない感動をした事と、その時携わってくださった看護師さんが一生懸命になってくれている姿を見て、看護師という仕事に興味を持ちました。

私はヘルパーとして病院に勤務していたこともあって、職場の方や知人から、看護学校の学習内容や勉強方法、実習でどんな事をするのか、大変だったことなどを事前に聞くことができたので、働きながら学べる准看護師を目指す覚悟ができました。

入試対策はどのようにしたか

入試の半年前くらい前から、市販の参考書で一から勉強し、インターネットで買った「真壁医師会准看護学院用試験対策問題」や、3年分の過去問題を購入し何度も繰り返し勉強しました。

子育て・仕事・勉強の両立

私には2歳の子供がいて、シングルマザーとして生活しています。

子供は保育園にあずけているのですが、急な子供の用事が出来た時には、家族に協力をお願いしています。

所属先が学業に専念できるように協力をしていただいているので、子育て・仕事・勉強の両立が出来ています。

将来の夢

私の将来の夢は、正看護師の資格を取得し、成人や老人だけではなく、子供とも係わり合える産科や、小児科で働いてみたいと思っています。

そして、誰にでも思いやりを持って接し、精神的にも強くいられる看護師を目指したいと思っています。

奨学金・給付金を活用して資格取得へ

当学院の生徒の中でも、経済的な不安を抱える人は少なくありません。当学院ではその不安を解消し、経済的負担を軽減する為の奨学金・給付金制度を紹介しています。実際の各種奨学金・給付金の活用例を参考にして下さい。

地元病院でヘルパー（看護助手）として勤務中の鶴田さん（10代）

当学院まで30分程度で通える病院でヘルパー（看護助手）として働きながら、勤務先からの奨学金・給与収入を得ながら通学。

＊勤務先の病院からの奨学金例（病院ごとに金額は異なる）

入学時諸経費の一部、及び授業料を奨学金として給付

入学時諸経費（女性）201,000円の内、157,000円・授業料など400,000円を奨学金として受給

＊給与収入　月額 **50,000円～80,000円程度**（施設ごとに異なる）

看護職への転職を目指し一般企業を退職した亀田さん（40代）

長年勤務した会社を退職し、ハローワークに相談。当学院が厚生労働大臣指定専門実践教育訓練講座指定の学校であることを知り、給付を受け、経済的問題をクリアし、学業と家庭の両立に専念。

①	茨城県看護師等修学資金	**252,000円**
③-1	専門実践教育訓練給付	**163,000円**
③-2	※教育訓練支援給付金（月額）	**180,000円**

※前年度所得による

子育て中のシングルマザー喜多さん（20代）

事業所で働いていたが、将来を見据え看護職者として地元病・医院で働くことを希望。学業と子育てを優先し、仕事をせずに行政所管で返済免除の給付金を活用。

①	茨城県看護師等修学資金	**252,000円**
②	高等職業訓練促進給付金	**1,200,000円**
③-1	専門実践教育訓練給付	**163,000円**
③-2	※教育訓練支援給付金	**340,000円**

※前年度所得による

高等学校中退で独身の徳川さん（30代）

入学前に、学院へ入学相談に行った際に、茨城県私立高等学校等就学支援金制度を利用できることを知り、家族の理解を得て、念願だった看護の道への進学を決意。

①	茨城県看護師等修学資金	**252,000円**
④-1	※茨城県私立高等学校等就学支援金	**276,000円**
④-2	※茨城県私立高等学校等奨学給付金	**98,500円**

※前年度所得による

各奨学金・給付金の詳細はこちら

① 茨城県看護師等修学資金

卒業後、准看護師免許を取得し、茨城県内の看護師不足地域にある医療機関などに、看護職員としての業務に従事しようとする方。（看護師不足地域に5年間継続して看護業務に従事した場合、返還は免除）

年4回支給　月額 **21,000円**

② 高等職業訓練促進給付金

●母子家庭・父子家庭の方
●児童（20歳未満）を扶養している

毎月支給
市町村民税　非課税世帯　月額 **100,000円**
市町村民税　課税世帯　月額 **70,500円**

③-1 専門実践教育訓練給付

●2年以上雇用保険の被保険者
●退職日より1年以内である
●前回給付を受けている人は3年以上空ける必要がある

受講費用の50%（上限：年間40万円）年2回給付
※所属施設での負担の場合は申請不可

※受講費用（入学金・授業料）
1年次　年額 **163,000円**
2年次　年額 **138,000円**

上記条件を満たす。尚且つ専門実践教育訓練を受講する、45歳未満の離職者の方

＋ ③-2 教育訓練支援給付金　雇用保険の基本手当日額の **80%支給**

④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金

●高等学校等を卒業していない方
●上限36ヶ月（高等学校などに在籍していた期間を除く）
●返還は不要　※支援金額は所得に応じ決定。毎年7月頃に所得情報更新の為改めて受給資格の確認あり

年4回支給　月額 **9,900円～23,000円**

上記条件を満たす。尚且つ非課税世帯の方

＋ ④-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金　年1回支給　年額 **98,500円**

医療機関・介護施設で働きながら学ぶ場合

所属する医療機関・介護施設からの奨学金制度もある為、上記の給付金・奨学金に加えて、所属する病院あるいは介護施設からの奨学金を利用しながら学ぶ生徒も多数在籍しています。（条件・給付額等は所属先による）

真壁医師会 准看護学院 学費について

●授業料	年額 276,000円
●教材費	年額 12,000円
●実習費	年額 24,000円
●PTA会費	年額 48,000円
●クラス費・駐車場代	年額 40,000円

計 400,000円

※前年度参考